

4 用語の定義

本ガイドラインで使用する用語は、以下のように定義する。

輸液療法・輸液

液体を皮下・血管内・腹腔内などに投与すること。

終末期がん患者

生命予後が1カ月程度と予測されるがん患者。

維持輸液

生命を維持するために必要とされる水分量と電解質を基本として、エネルギーや各栄養素を加味して投与する輸液。

維持輸液は、TPN（高カロリー輸液）とPPN（中カロリー輸液）に分類される。

高カロリー輸液

中心静脈を利用して、10%を超える糖質濃度の維持輸液を投与すること。

中カロリー輸液

末梢静脈を利用して、10%以下の糖質濃度の維持輸液を投与すること。

補充輸液

細胞外液の喪失を補充する目的で投与する輸液。

がん悪液質

がん悪液質とは、従来の栄養サポートで改善することは困難で、進行性の機能障害をもたらす、(脂肪

組織の減少の有無にかかわらず) 著しい筋組織の減少を特徴とする複合的な代謝障害症候群である。病態生理学的には、経口摂取の減少と代謝異常による負の蛋白、エネルギーバランスを特徴とする。

家族

夫婦、親子、兄弟など、患者と姻戚もしくは血縁関係にある人々、あるいは、情緒的、機能的、経済的に支援しあい患者が家族であると認識している人々。

医療チーム

医師、看護師、心理専門家、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士など複数の専門職種からなる患者ケアを行う多職種チーム。

Performance Status (ECOG)

- 0：無症状で社会活動ができ、制限を受けることなく発病前と同等にふるまえる。
- 1：軽度の症状があり、肉体労働は制限を受けるが、歩行、軽労働や座業はできる。
- 2：歩行や身の回りのことはできるが、ときに少し介助がいることもある。軽労働はできないが、日中の50%以上は起居している。
- 3：身の回りのある程度のことではできるが、しばしば介助がいり、日中の50%以上は臥床している。
- 4：身の回りのこともできず、常に介助がいり、終日臥床を必要としている。

(東口高志)

【参考文献】

- 1) Radbruch L, Elsner F, Trottenberg P, et al. Clinical practice guidelines on cancer cachexia in advanced cancer patients with a focus on refractory cachexia. European Palliative Care Research Collaborative, 2011 [Available from : www.eprc.org]